

All Miyazaki研修医スタートアップセミナー & ウェルカムパーティ開催



平成28年4月2日に宮崎観光ホテルにて、「All Miyazaki研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ」が開催されました。

主催は宮崎県臨床研修運営協議会で、1月末より宮崎大学(医療人育成支援センター+卒後臨床研修センター)と県医師会、県がタッグを組んで、準備を重ねてきたものです。

4部構成になっており、第1部は九州厚生局宮崎事務所による宮崎県内全1年次研修医を対象とした保険診療等に関する講習会、第2部は、1年次研修医には県医師会から保険診療説明会と医師会の活動紹介、2年次研修医には宮崎県および宮崎大学から新専門医制度説明会を並列して実施しました。

そして、第3部は、今回の目玉企画である、福井大学医学部附属病院救急総合診療部の林寛之教授を特別講師に迎えての臨床研修講演会でした。お題目は「ERサバイバル御法度～充実した研修・医師人生のために～」、講演内容はインパクトの強い分かりやすいすばらしいものでした。「歩いて救急外来を訪れる患者の0.2～0.7%は実は隠れ重症患者。将来どの科に進もうと、よくあるハイリスク疾患の非典型例に強くなっておきたい。初期研修は自分のための研修ではなく、患者のためなのだ。」このようなメッセージが研修医のみなさんへ送られました。研修医の心を掴んで離さない林先生の魅力を存分に体感できる貴重な講演会でした。

第4部は県内新研修医+2年次研修医の祝賀会で、宮崎県知事、県医師会長、宮崎大学長、医学部長、病院長を始め、県内の各医療機関から大勢の指導医が参加しての、大変盛大なものとなりました。研修医代表挨拶は本院の岩佐一真先生が清々しく立派な挨拶を述べられました。

とても内容の濃いイベントとなり、新たな形で実施したこの会のネーミング「All Miyazaki研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ」にあるとおり、「All Miyazaki」を合言葉に今後も宮崎全体の研修をしっかりと盛り上げていきたいと決意を新たにできた1日となりました。





平成27年度卒後臨床研修センター修了式



平成28年3月23日(水)に卒後臨床研修センター修了式を開催しました。今年度の修了生は医科31名、歯科2名の合計33名となりました。

センター長から修了者一人ひとりに修了証が授与されるとともに、ベスト指導医賞、ベスト研修医賞の授与も行いました。ベスト指導医賞を受賞された先生方には心温まるお言葉をいただき、また、ベスト研修医賞の先生方には2年間の思い出や今後の抱負などを述べていただきました。最後に出席者全員で記念撮影を行い、修了式は終了しました。

宮崎大学研修修了後の進路

| | 平成19年度 修了者 | 平成20年度 修了者 | 平成21年度 修了者 | 平成22年度 修了者 | 平成23年度 修了者 | 平成24年度 修了者 | 平成25年度 修了者 | 平成26年度 修了者 | 平成27年度 修了者 |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 宮崎大学・大学院 | 18 | 19 | 29 | 25 | 21 | 12 | 29 | 24 | 27 |
| 宮崎県内病院 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 |
| 県外大学・病院等 | 3 | 5 | 6 | 9 | 3 | 9 | 9 | 7 | 1 |
| 合計 | 23 | 26 | 36 | 34 | 25 | 22 | 40 | 33 | 31 |

平成27年度 ベスト研修医賞

- 落合 彰子
- 中津留佳菜子
- 梶田 一旭

平成27年度 ベスト指導医賞

- 1位 中村 禎志 (潤和会記念病院)
- 2位 松田俊太郎 (串間市民病院)
- 3位 廣兼 民徳 (宮崎善仁会病院)
- 4位 岩切 弘直 (都城市郡医師会病院)
- 5位 山下 靖宏 (宮崎大学 第一内科)
- 6位 長嶺 育弘 (宮崎大学 救急科)
- 7位 河野 次郎 (県立宮崎病院 精神科)
- 7位 上田太一郎 (宮崎大学 救急科)
- 7位 橋本 神奈 (宮崎大学 第二内科)

ベスト研修医・指導医からのメッセージ

ベスト研修医

母校という理由で大学での研修を選択しましたが、2年間非常に充実した日々を送ることができました。私は大学14ヶ月、市中病院10か月、内科・救急を中心にローテーションしましたが、どの施設でも温かく迎えてくださり、すべての方に鍛え育てていただいたと感じております。また、学会発表や勉強会などの機会も多く、自分の頑張り次第で、更に密度の高い研修ができると思います。全国の有名病院に劣ることは決してありません。

今後は腎臓内科へ進み、2年間で得たつながり、学びを大切に、日々精進したいと思います。後輩の皆さんに宮崎で研修したいと思ってもらえるような、魅力的な医師になるのが目標の一つです。

最後に、指導いただいた先生方、スタッフの方々、卒後臨床研修センターの方々の尽力で無事研修を終えることができました。感謝しております。本当にありがとうございました。

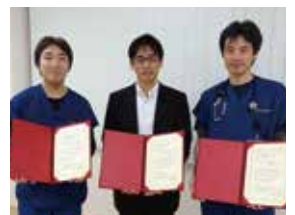
ベスト研修医
落合 彰子先生(写真中央)



ベスト指導医

県立宮崎病院 精神医療センター医長
河野 次郎先生(写真中央)

2年間の初期研修の修了おめでとうございます。そして、ベスト指導医第7位の名誉ある賞をいただき、リアルガチ嬉しいです。「どんな症例でもかかって来い!」って感じます。私が勤務する県立宮崎病院精神医療センターは救急合併症に重心を置いた精神科です。マイペースで仕事をさせていただける環境がとてもありがたいです。これから各科で活躍するみなさんを心から応援しています。そして、連携して一緒に働けたら最高です。





研修センターコラム



中島 孝治先生

(医療人育成支援センター教員)

研修医1年目の皆様、国家試験合格おめでとうございます。医師としての第一歩を踏み出し、期待と不安が入り混ざっているかと思いますが、実り多い2年間となるよう卒後臨床研修センター一同サポートいたします。困ったこと等あれば、いつでもご相談ください。

2年目の先生方は大学病院外での研修が多くなります。1-2ヶ月での異動は大変ですが、県内の様々な医療機関で色々な指導医の先生から多くを学んでいた

ければと思います。進路も悩む時期で大変ですが体調に気をつけて残りの1年を頑張ってください。

さて、春といえば桜の季節。以前、私が勤務していた病院で時期になると年休をとって桜を観に行かれる先生(当時40歳代半ば)がおられました。

私が「先生は、わざわざ休みを取って(桜を見に)行かれるのですか?」と聞いたら「桜の花は年1回しか咲かないでしょ。私の人生だとあと30回見れるか見れないか。たった30回しか見れないと思うと、もったいないじゃない」と、少しはにかみながら言われました。桜を見るとなぜかいつも、その笑顔と言葉が浮かび上がってくるのです。

今年も桜を見られたことに感謝しつつ1年1日を大切にしたいと思う私、現在42歳です。

年年歳歳花相似 歳歳年年人不同



行事案内



| | | |
|----|---------------|-----------------------------------|
| 4月 | 1日(金)~8日(金) | 平成28年度 研修医オリエンテーション |
| | 2日(土) | All Miyazaki研修医スタートアップ&ウェルカムパーティ |
| | 14日(木) | 宮崎大学医学部附属病院群 卒後臨床研修プログラム説明会 |
| 6月 | 10日(金) | 平成28年度医師臨床研修マッチング説明会 宮崎県7基幹型病院説明会 |
| | 16日(木) | 平成28年度医師臨床研修マッチング参加登録開始 |
| | 21日(火) | 平成28年度歯科医師臨床研修マッチング参加登録開始 |
| | 25日(土) | 宮崎県専門研修プログラム合同説明会 |
| | 27日(月) | 研修指導医対象研修評価説明会 |
| 7月 | 3日(日) | レジナビフェア in 大阪 |
| | 17日(日) | レジナビフェア in 東京 |
| | 28日(木) | 平成28年度臨床実習終了納涼会&全診療科合同説明会 |
| 8月 | 15日(月)・29日(月) | マッチング面接 |

なんでも 掲示板

研修『何でも掲示板』への原稿・記事募集!

研修に関する情報共有、意見交換の場として『何でも掲示板』のコーナーを開設します。内容は研修に関することなら何でも結構です。これは研修医に知ってほしいという情報、メッセージなどをぜひお寄せください。みなさまからのご応募をお待ちしております。

例)【内容】 研修医や指導医へのメッセージ、研修関連勉強会の案内、トピックスの紹介など

【字数】 200~400字程度

【図表】 1点まで可(掲載できるサイズが小さくなります。)

センター通信発刊月は毎年3回(4,8,12月)です。

宮崎大学医学部 学生支援課 医療人支援係(卒後臨床研修担当)

(内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp